

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎ノ

10.19 三里塚集結

12500名の大部隊で都心まで貫徹!

二期工事を許さないぞ! ジェット延長を阻止するぞ!

更に全力で10.21国際反戦闘争へ!

「十月大行動一週間連続闘争」の最終日である十月十九日、三里塚芝山連合空港反対同盟主催による「二期工事阻止・完全廃港10・19全国総決起集会」が開催された。

集会は、全国各地で三里塚と連帯して闘う労組、住民諸団体を軸に一二五〇〇名が結集し、十三日芝山・成田市当局への抗議闘争を皮切りに、首都東京へのぼりつめ、十七日運輸省抗議闘争を、国家権力の弾圧をはねのけ闘い抜き「十月大行動」の圧倒的成功をかちとった成果のうえに、八一年二期着工阻止、三月燃料輸送延長阻止闘争を全力を挙げて闘うことを全体で確認した。

動労千葉は、全支部より二〇〇余名の隊列をもって参加し、来年三月への闘う決意と方針を明らかにし、三里塚・動労千葉を軸に闘う陣形の形成を訴えた。

反対同盟は動労千葉の闘いにこたえる

集会は、闘う決意がみなぎる中で、青行隊・石井新二・小泉英政両氏の司会のもとに、内田寛一行動隊長の力強い開会あいさつをもって開始された。主催者を代表して二期工事予定地内で不屈に闘う小川源さんがあいさつにたった。

「成田用水、農振策は二期工事に関連する攻撃である。懐柔策に乗らず二期工事を絶対に粉碎してみせる。動労千葉はジェット闘争を首をかけて闘っている。反対同盟は十五年間闘ってきた精神をもって動労千葉と連帯して共に闘う」と断固とした決意を表明した。

基調報告にたった北原事務局長は、十月大行動の闘いの報告をした。とりわけ十七日運輸省抗議の際に反対同盟に対して加えられた機動隊による暴行を弾劾し「よし、その気でやるならば二期をやってみろ。必ず粉碎する」と決意を示した。さらに、「四空整」に明らかかな通り八一年二期着工攻撃は必らず来ると受けとめ、三月燃料輸送期限切れにむけた動労千葉の闘いに反対同盟は全力でこたえることを再度明らかにした。この決意にたつて当面する四つの具体的方針を提起した。

- 来年三月にむけジェット燃料輸送延長阻止、パイプライン阻止を全力をかけて取り組む。
- 「四空整」軍事大国化攻撃の一方の柱、関西新空港反対闘争を関西住民と連帯して闘う。
- 一切の差別・抑圧粉碎、三里塚に敵対する革マル一掃にむけて断固として闘う。と提起し、最後に三里塚に勝利することこそ、韓国・南朝鮮人民・光州に真に込める道である。と述べた。

組織の命運をかけて 来年三月を闘い抜く

共闘団体の発言の最初にたった関川委員長は、動労東京革マル分子の乗務員運用合理化「九月裏



二期攻撃を全力ではねかえすぞ! トラクター先頭に意気高くデモ。(10.19 渋谷駅前)

切り妥結」を鋭く弾劾し、十一・一運用合理化強行策こそ新たな当局・革マル連合による「五六・三」攻撃であり、組織破壊攻撃であることを暴露し、これとの断固たる闘う決意を明らかにした。

そして来年三月にむけた闘う陣形をつくりだすために12・21全国労働者集会、1・24反対同盟共催による「三月燃料延長阻止全国総決起集会」を開催する方針を訴え、全体で確認された。

その後、結集した多くの団体・労組より連帯のあいさつと決意が表明され、最後に、反対同盟の各部落代表、婦人行動隊、青年行動隊の決意表明をうけて集会は成功裡に終了し、一二五〇〇名の長蛇のデモ行進を機動隊の弾圧をはねのけ、耕運機・トラクター・ムシロ旗を先頭に渋谷から新宿へと貫徹した。